

第36回

教会音楽祭

主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された

プログラム

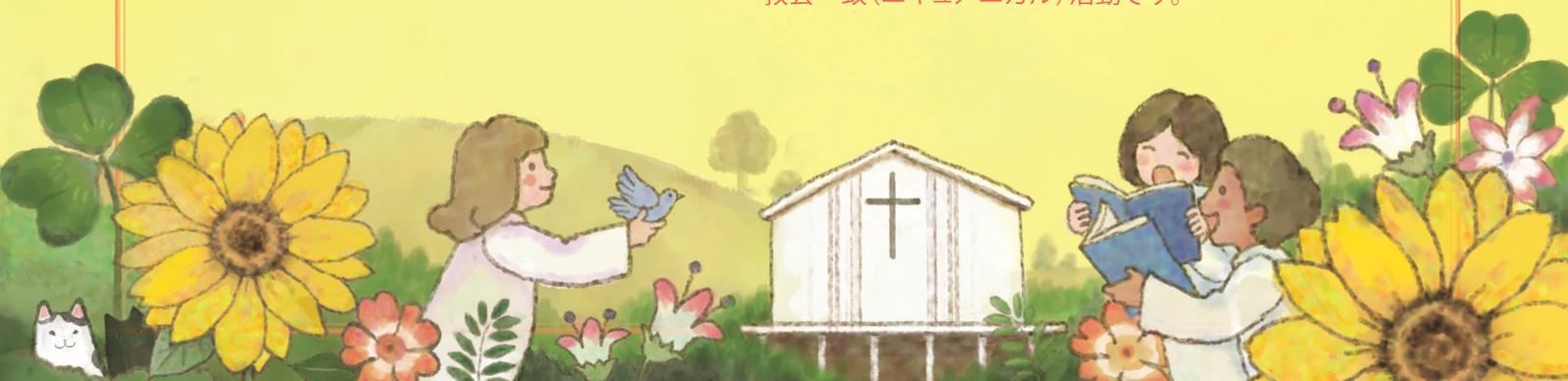


2024年7月13日(土)

13時30分より

国際基督教大学 (ICU) 礼拝堂にて

教会音楽祭は、キリスト教の教派を超えて神さまへ賛美をささげようと1968年から続けられている、日本最大規模の教会一致(エキュメニカル)活動です。



第36回教会音楽祭へ ようこそ

ごあいさつ

第36回教会音楽祭にご参加いただき、ありがとうございます。今回の第36回教会音楽祭にあたって、お伝えしたいことが三つあります。

一つは、2019年の第34回教会音楽祭（青山学院大学にて）以来の、久しぶりの対面での開催であることです※。

二つ目は、教会音楽祭の在りようが変わってきたことです。具体的には、以前は各教派の賛美の紹介という意味合いが強かったのですが、今は、参加して下さった皆さまに賛美に加わっていただく、ということに重きを置いております。そのために、本日の午前中には「『オリジナル新曲を歌おう!』ワークショップ」と称して公募曲と委嘱曲を練習する機会を設け、また6月上旬から練習用動画（教会音楽祭公式 YouTube チャンネル）を公開いたしました。

三つ目は、今回の教会音楽祭のテーマ「主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された」についてです。このテーマは、上記背景と詩編102編19節から、教会音楽祭実行委員会の心の拠りどころだった故小宇佐敬二神父が導き出してくださったものです。このテーマをもとに委嘱曲を作ることになり、小宇佐神父に作詞していただき、作曲を3人の作曲家に委嘱し、今回の3曲の委嘱曲ができあがりました。そしてこの詞は、小宇佐神父の遺作となりました。

最後になりますが、会場を提供して下さった国際基督教大学の関係の皆さまに感謝いたします。そして、お集まりの皆さま、関わって下さった全ての方々に、豊かな恵みがありますように。

主に在って

第36回教会音楽祭 実行委員長 秋吉 亮

※第35回教会音楽祭（2022年）は動画配信で開催しました。その一部と、「教会音楽祭オリジナル曲を歌う会」（2023年）も教会音楽祭公式 YouTube チャンネルで公開しております。ぜひご視聴ください。



CONTENTS

赤字で記載したページに楽譜がございます。
みなさんで一緒に歌いましょう。

1. 前奏曲 オルガン 苅谷和子
 2. 聖書朗読 詩編 102 編 19 節
 3. はじめのことば
 4. 賛美 「主を賛美するために」 …P. 4-6
作詞 小宇佐敬二 作曲 松尾茂春
指揮 松尾茂春
 5. アンセム「キリエ」 C. モクレバスト作曲
演奏：国際基督教大学教会ハンドベルクワイヤ
ジョイフルリンガーズ
 6. 聖書朗読 詩編 103 編 1～5 節
 7. 応答の歌 詩編 103 編 22 節 …P. 7
「主につくられたものはすべて 主をたたえよ」
作曲 土屋真穂 (公募)
 8. 聖書朗読 詩編 103 編 22 節
 9. 応答の歌 詩編 103 編 22 節 …P. 8
「主につくられたものはすべて 主をたたえよ」
作曲 高垣絵李鼓 (公募)
 10. 賛美 「ガリラヤの風かおる丘で」 …P. 8-9
 11. 賛美 「あめなる喜び」 Tune: BEECHER
…P. 10-11
 12. 聖書朗読 詩編 102 編 1～23 節
 13. アンセム「聖なる聖なる」
賛美歌旋律作曲 J. B. ダイクス
編曲 R. エミリアーニ
演奏：国際基督教大学教会ハンドベルクワイヤ
ジョイフルリンガーズ
 14. 賛美 「聖なる聖なる」 Tune: NICAEA
…P. 13-14
 15. 説教 ジェレマイア L. オルバーグ師
 16. 賛美 「主を賛美するために」 …P. 14-15
作詞 小宇佐敬二 作曲 町田治
指揮：町田治
 17. 献金先のための祈り
 18. 賛美 「心ひとつに」 …P. 16-17
作詞 熊田なみ子 作曲 佐藤容子
(第33回教会音楽祭 公募入選作)
※歌の中で献金をおささげください
 19. みなさんで歌ってみましょう
「ジンバブエのハレルヤ」 …P. 18
「神をたたえる歌は」 …P. 18-19
作詞 F. P. グリーン 訳詞 荒瀬牧彦
作曲 スイホン・リム
打楽器：尾尻早弥、淵上和毅
リード：江原美歌子
 20. 応答の歌 詩編 146 編 1 節 …P. 19
「ハレルヤ。わがたましいよ。主をほめたたえよ」
作曲 陸 慧憬 (公募)
 21. 聖書朗読 詩編 146 編 1～2 節
 22. 応答の歌 詩編 146 編 1 節 …P. 20
「ハレルヤ。わがたましいよ。主をほめたたえよ」
作曲 平山晴子 (公募)
 23. 賛美 「くすしき み恵み」 …P. 21
Tune: NEW BRITAIN
 24. 主の祈り 教会音楽祭訳 …P. 22-23
作曲 新垣壬敏
 25. 賛美 「たたえよ、主の民」 …P. 23
 26. 祝祷 ジェレマイア L. オルバーグ師
 27. 賛美 「主を賛美するために」 …P. 24-25
作詞 小宇佐敬二 作曲 土井康司
指揮 土井康司
 28. 後奏曲 オルガン 中島郁代
- ◆ テーマ曲「主を賛美するために」について
 - ◆ 公募曲選考経過
 - ◆ 献金先について
 - ◆ 教会音楽祭のあゆみ
 - ◆ 著作権一覧

1. 前奏曲

Festligt praludium over choralen 'Lover den Herre'

賛美歌「ちからの主をほめたたえよ」による祝典前奏曲

作曲 Niels Wilhelm Gade

オルガン 苅谷和子

2. 聖書朗読 詩編 102 編 19 節

日本聖書協会『新共同訳 聖書』

後の世代のために

このことは書き記されねばならない。

「主を賛美するために民は創造された。」

3. はじめのことば

4. 賛美「主を賛美するために」

作詞 小宇佐敬二

作曲 松尾茂春

(第36回教会音楽祭 委嘱作)

指揮 松尾茂春



Unison

主をさんびする ために あなたはわたしたちを 創造された。

S.

あなたは わたしたちを 死のとらわれから かいほうしてくださいました。

A.

あなたは わたしたちを 死のとらわれから かいほうしてくださいました。

T.

あなたは わたしたちを 死のとらわれから かいほうしてくださいました。

B.

あなたは わたしたちを 死のとらわれから かいほうしてくださいました。



9

S. いま ころを合 わ せて あ なたに向 か - いさ んびのうたを うたい ます。

A. いま ころを合 わ せて あ なたに向 か - いさ んびのうたを うたい ます。

T. いま ころを合 わ せて - あ なたに向 か - いさ んびのうたを うたい ます。

B. いま こ - - ろ を合 わ - - せてあ なたに向 か いさ んびのうたを うた います。

14

S. 主 を さんびする た めに あなたはわたした ちを 創 - 造 された。

A. 主 を さんび-する - た-めに あなたはわたした ちを 創 造-さ - - - れた。

T. 主 を さんびする た-めに あなたはわたしたちを創 - - - 造-された。

B. 主 を さんびする - た めに あなたはわたしたちを創 - - - 造-された。

18

S. とみにうたおう お だやかなころ で あなたののぞむへ いわのうた を

A. とみにうたおう お だやかなころ --で あなたののぞむへ いわのうた を

T. とみにうたおう お だやかなころ で へ い わの うた - - - を

B. とみにうたおう お だやかなころ - で へ い わの うた を



22

S. よろこびにあふれ ともにうたいます。

A. よろこびにあふれ ともにうたいます。

T. よろこびにあふれ - - - ともに - うた い - ます。

B. よろこび によろこびにあふれうたいます。

26

S. 主をさんびする ためにあなたはわたしたちを創 -

A. 主をさんびする た め - に あなたはわたしたちを創

T. 主 - - を - - さんびする た め に あなたはわたしたちを - - 創 -

B. 主をさんびする ためにあなたはわたしたちを - 創 - -

29

S. 造 された。

A. 造 - 創 - 造 - - さ - - - - された。

T. 造 - 創 造 - さ - - - - された。

B. 造 - - - - - された。



主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。
あなたはわたしたちを 死のとらわれから開放してくださいました。
今 心を合わせてあなたに向かい 賛美の歌を歌います。
主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。
ともに歌おう 穏やかな心で
あなたの望む平和の歌を 喜びにあふれ ともに歌います。
主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。

5. アンセム 「キリエ」

作曲 C.モクルバスト

国際基督教大学教会ハンドベルクワイヤ ジョイフルリンガーズ

6. 聖書朗読 詩編 103 編 1～5 節

日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』

ダビデの詩。

私の魂よ、主をたたえよ。
私の内なるすべてのものよ
その聖なる名をたたえよ。
私の魂よ、主をたたえよ。
そのすべての計らいを忘れるな。
主はあなたの過ちをすべて赦し
あなたの病をすべて癒やす方。
あなたの命を墓から贖い
あなたに慈しみと憐れみの冠をかぶせる方
あなたの望みを良きもので満たす方。
こうして、あなたの若さが
鷺のように新しくよみがえる。

朗読 白井孝喜

7. 応答の歌 詩編 103 編 22 節

新共同訳 聖書

作曲 土屋真穂 (公募)

オルガンで1回演奏します。引き続いてご唱和ください。

主 に つく ら れ た も の は
5 す べ て 主 を た た え よ

8. 聖書朗読 詩編 103 編 22 節

日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』

主の造られたすべてのものよ、主をたたえよ

主の治めるすべての場所で。

私の魂よ、主をたたえよ。

朗読 鈴木千恵子

9. 応答の歌 詩編 103 編 22 節

新共同訳 聖書

作曲 高垣絵李鼓 (公募)

オルガンで1回演奏します。引き続きご唱和ください。

主につくられたものはすべて主をたたえよ

10. 賛美 「ガリラヤの風かおる丘で」

作詞 別府信男

作曲 蒔田尚昊 Tune: GARIRAYA NO KAZE

1. ガリラヤの^{かぜ}風か^{おか}おる丘で
ひとびとに^{はな}話された
めぐみのみことばを
わたしにも^き聞かせてください

2. あらしの^ひ日 波たける^{うみ}湖で
^{でし}弟子たちをさとされた
ちからのみことばを
わたしにも^き聞かせてください

3. ゴルゴタの^{じゅうじか}十字架の^{うえ}上で
^{つみ}罪びとを^{まね}招かれた
すくいのみことばを
わたしにも^き聞かせてください

4. ^{ゆうぐ}夕暮れの^{みち}エマオへの道で
^{でし}弟子たちに^つ告げられた
いのちのみことばを
わたしにも^き聞かせてください



1. ガ リ ラ ヤ の か ぜ か お る お か で -
 2. あ ら し の 日 な み た け る う み で -
 3. ゴ ル ゴ タ の じ ゅ う じ か の う え で -
 4. ゆ う ぐ れ の エ マ オ へ の み ち で -

ひ と び と に は な さ れ た め ぐ み の み こ と
 で し た ち を さ と さ れ た ち か ら の み こ と
 つ み び と を ま ね か れ た す く い の み こ と
 で し た ち に つ げ ら れ た い の ち の み こ と

ば を わ た し に も き か せ て く だ さ い
 ば を わ た し に も き か せ て く だ さ い
 ば を わ た し に も き か せ て く だ さ い
 ば を わ た し に も き か せ て く だ さ い

■ 11. 賛美 「あめなるよろこび」 Love divine, all loves excelling

作詞 C. ウェスレー 訳詞 讃美歌 21
 作曲 J. ズンデル Tune: BEECHER



1. あめなるよろこび ^{せい}聖なる^{あい}愛よ、
 こよなくとうとき ^{きみ}わが君イエスよ、
^{すく}救いの^{めぐ}恵みを たずさえくだり、
 おののくこの^み身に ^{やど}宿らせたまえ。

2. ^{せいれい}聖霊の^{いぶき}息吹よ、いま^ふ吹ききたり、
^{なや}悩める^{たま}ところに いこいを賜え。
 われらをあわれみ、^{つみ}罪より^{はな}放ち、
 あふれるよろこび ^う受けさせたまえ。

1. あめなるよろこび せいなるあいよ、
 2. せいれいのいぶきよ、いまふききたり、
 3. ちからのわが主よ、きたりとどまり、
 4. われらもあらたに、つくりかえられ、

こよなくとうとき わがきみイエスよ、
 なやめるところに いこいをたまえ。
 われらのところに いのちをたまえ。
 きよめをうけつつ、さかえにすすみ、

すくいのめぐみを たずさえくだり、
 われらをあわれみ、つみよりはなち、
 あしたにゆうべにいのりをささげ、
 みくにいたりて みまえにふす日、



3. ちからのわが^{しゆ}主よ、^き来たりとどまり、
われらの^{こころ}心に ^{たま}いのちを賜え。
あしたに^{ゆう}夕べに、^{いの}祈りをささげ、
^{すく}救いのみわざを ^{うた}歌わせたまえ。
4. われらもあらたに ^{つく}造りかえられ、
^うきよめを受けつつ ^{さか}栄えにすすみ、
^{くに}み国にいたりて、^{まえ}み前に伏す日、
^{かお}み顔のひかりを ^{あお}仰がせたまえ。

おののくこのみにやどらせたまえ。
あふれるよろこびうけさせたまえ。
すくいのみわざをうたわせたまえ。
みかおのひかりをあおがせたまえ。

12. 聖書朗読 詩編 102 編 1~23 節

日本聖書協会『新共同訳 聖書』

祈り。心挫けて、主の御前に思いを注ぎ出す貧しい人の詩。

主よ、わたしの祈りを聞いてください。

この叫びがあなたに届きますように。

苦難がわたしを襲う日に

御顔を隠すことなく、御耳を向け

あなたを呼ぶとき、急いで答えてください。

わたしの生涯は煙となって消え去る。

骨は炉のように焼ける。

打ちひしがれた心は、草のように乾く。

わたしはパンを食べることすら忘れた。

わたしは呻き

骨は肉にすがりつき

荒れ野のみみずく

廃虚のふくろうのようになった。

屋根の上にひとりいる鳥のように



わたしは目覚めている。

敵は絶えることなくわたしを辱め

嘲る者はわたしによって誓う。

わたしはパンに代えて灰を食べ

飲み物には涙を混ぜた。

あなたは怒り、憤り

わたしを持ち上げて投げ出された。

わたしの生涯は移ろう影

草のように枯れて行く。

主よ

あなたはとこしえの王座についておられます。

御名は代々にわたって唱えられます。

どうか、立ち上がって

シオンを憐れんでください。

恵みのとき、定められたときが来ました。

あなたの僕らは、シオンの石をどれほど望み

塵をすら、どれほど慕うことでしょう。

国々は主の御名を恐れ

地上の王は皆、その栄光におののくでしょう。

主はまことにシオンを再建し

栄光のうちに顕現されます。

主はすべてを喪失した者の祈りを顧み

その祈りを侮られませんでした。

後の世代のために

このことは書き記されねばならない。

「主を賛美するために民は創造された。」



主はその聖所、高い天から見渡し
 大空から地上に目を注ぎ
 捕われ人の呻きに耳を傾け
 死に定められていた人々を
 解き放ってくださいました。
 シオンで主の御名を唱え
 エルサレムで主を賛美するために
 諸国の民はひとつに集められ
 主に仕えるために
 すべての王国は集められます。

朗読 関伸子
 (カンバーランド長老キリスト教会
 東小金井教会牧師)

13. アンセム 「聖なる聖なる」 Holy, Holy, Holy

賛美歌旋律作曲 J. B. ダイクス
 編曲 R. エミリアーニ

国際基督教大学教会ハンドベルクワイヤ ジョイフルリンガーズ

14. 賛美 「聖なる聖なる」 Holy, holy, holy, Lord God almighty

作詞 R. ヒーバー 訳詞 日本聖公会 聖歌集
 作曲 J. B. ダイクス Tune: NICAEA

1. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 みつにいまして ひとつなる
 神のみ名をば 朝あさまだき
 起きいでてこそ ほめまつれ

3. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 罪つみある目めには 見えねども
 みいつくしみの 満みち足れる
 神かみの榮さかえぞ たぐいなき

2. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 神のみ前まへに ひじり(聖徒)らも
 かむりを捨すてて 伏ふしおがみ
 み使つかいたちも み名なをほむ

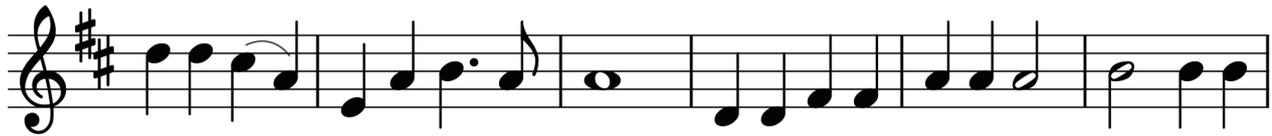
4. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 み手てのわざなる ものみなは
 みつにいまして ひとつなる
 神かみのおおみな(大御名) ほめまつらん





1. せ い なる せ い なる せ い なる か な み つ に い
 2. せ い なる せ い なる せ い なる か な か み の み
 3. せ い なる せ い なる せ い なる か な つ み あ る
 4. せ い なる せ い なる せ い なる か な み 手 の わ

6



まして 一 ひとつ なる か みのみ 名をば あさま
 まえに 一 ひじり ら も かむりを 捨てて ふしお
 目には 一 見えね ども みいつく しみの みちた
 ざなる 一 ものみ な は みつにい まして ひとつ

12



だ き お き い で て こ そ ほ め ま つ れ
 が み み つ か い た ち も み 名 を ほ む
 れ る か み の さ か え ぞ た ぐ い な き
 な る か み の お お み な ほ め ま つ らん

15. 説教

「わがたましいよ、主をほめよ」

ジェレマイア L. オルバーグ師

国際基督教大学 特任教授 (哲学・宗教学、平和研究)、宗務部長代行

16. 賛美 「主を賛美するために」

作詞 小宇佐敬二

作曲 町田治

(第36回教会音楽祭 委嘱作)

指揮 町田治



Moderato (♩=80)

主をさんびするのためにあなたはわたしたちをそうぞうされた

Fine

1 あなたはわたしたちを死の捕らわれから解放してくだ

さいましたいまころをあわせてあなたに向か

いさん美のうたをうたいます

D.C.

2. ともにうたおうおだやかなところであなたのぞむへい

和のうたをよろこびにあふれともにうたいます

D.C.

17. 献金先のための祈り

山谷真 少佐 (救世軍)

第36回教会音楽祭の献金は、教会音楽祭のエキュメニカル宣教活動のほか、救世軍を通して、下記の働きのためにもちいられます。

1. 能登震災支援1【輪島塗救出支援】
2. 能登震災支援2【炊き出し支援】
3. 地域における食事支援

18. 賛美 「心ひとつに」

作詞 熊田なみ子

作曲 佐藤容子

(第33回教会音楽祭 公募入選作)

♪ 歌いかた

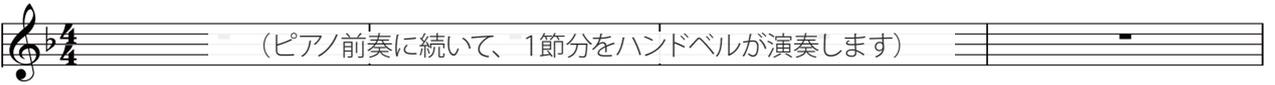
ピアノ伴奏につづき、ハンドベルが1節を演奏します。そのあと、1節、2節、3節、4節を全員で歌います。

4節のあとは先発・後発の2つに分かれて、カノンで1回歌います。(カノン2回目以降は、ハンドベルが演奏します)

- | | |
|--|---|
| 1. 心ひとつに 祈ろう
心ひとつに 歌おう
互いのいのち 輝かせ
ともに生きる この日のために | 4. 心ひとつに 主イエスを
心ひとつに 信じて
われらに愛をくださった
ともに生きる 主イエスのいのち |
| 2. われらの痛み 祈ろう
ゆるしといやし求めて
互いのいのち 抱き合い
ともに生きる この日のために | (カノン)
心ひとつに祈ろう
心ひとつに歌おう
心ひとつに主イエスを
心ひとつに信じて |
| 3. われらの願い 祈ろう
あらゆる民に 平和を
互いのいのち 支え合い
ともに生きる あしたのために | |



♩ = 66 優しく

うた  (ピアノ前奏に続いて、1節分をハンドベルが演奏します)

5 *mp*

 こころひとつにいのろう— こころひとつに
 われらのいたみいのろう— こゆるしといや—し
 われらのねが—いのろう— あらゆるたみに
 こころひとつに主イエスを— こころひとつに

8 *mf* *mp*

 うたおう— たがいのいのち— かがやかせ— とともに生きる
 もとめて— たがいのいのち— いだきあい— とともに生きる
 へいわを— たがいのいのち— ささえあい— とともに生きる
 しんじて— われらにあい—を— くださ—た— とともに生きる

12 *f* *p* 1.2.3.

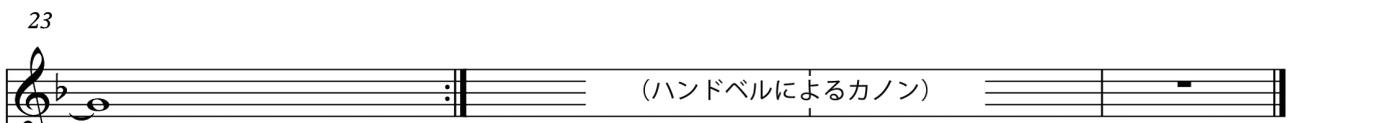
 とともに生きる— この日のため— に
 とともに生きる— この日のため— に
 とともに生きる— あしたのため— に
 とともに生きる— 主イエスのいのち

16 1
 (ピアノ間奏)

<カノン> 響き合って

19 *pp*

 こころひとつにいのろう— こころひとつに— うたおう—
 こころひとつに— 主イエスを— こころひとつに—

23
 (ハンドベルによるカノン)
 しんじて—
 (ハンドベルによるカノン)



19. みなさんで歌ってみましょう

打楽器 尾尻早弥・瀬上和毅

リード 江原美歌子

ジンバブエのハレルヤ

The musical score is written for three staves: Treble clef (top), Treble clef (middle), and Bass clef (bottom). The key signature has one flat (B-flat). The melody consists of eighth and quarter notes, with some phrases held over. The lyrics are written below each staff.

ハレルヤー、ハレルヤ、ハレルヤー、ハレルヤ!

ハレルヤ、ハレルハレルヤ、ハレルヤ!

ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ!

「神をたたえる歌は」

作詞 F.P.グリーン 訳詞 荒瀬牧彦

作曲 スイホン・リム

1. 神^{かみ}を^{うた}たたえる歌は
 人^{おご}の^け驕^きり消し去る
 世^せ界^{かい}に響^{ひび}く叫^{さけ}び
 ハレルヤ ハレルヤ

2. 音^{おん}楽^{がく}生^うまれるとき
 新^{あら}たな^{みち}道^みが見える
 深^{ふか}めよ祈^{いの}りの歌^{うた}
 ハレルヤ ハレルヤ

3. 真^{しん}理^りを^{かた}語^{たみ}れ民^{たみ}よ
 過^か去^この過^{あや}ち^まを越^こえ
 礼^{れい}拜^{はい}と愛^{あい}の業^{わざ}で
 ハレルヤ ハレルヤ

4. あ^よの夜^よイ^しエ^{へん}スは詩^し編^{へん}を
 歌^{うた}い、闇^{やみ}に向^むか^かつた
 た^たえよそ^{しょう}の勝^り利^りを
 ハレルヤ ハレルヤ

5. 楽^が器^{つき}を持^もち寄^より鳴^ならそう
 信^{しん}仰^{じょう}のこ^ことば^とのせ^せて
 た^たえよ神^{かみ}に歌^{うた}おう
 ハレルヤ ハレルヤ





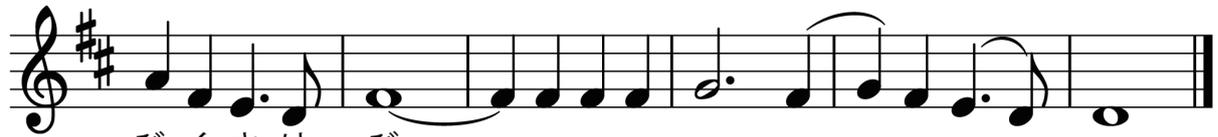
1. かみを た た え る う た は ひ と の
 2. おんが く 生 ま れ る と き あ ら た
 3. しんり を か た れ た み よ か こ の
 4. あのよ(夜) イエ ス は 詩 へ ん を う た い、
 5. 楽器 を も ち よ り 鳴 ら そ う しん こ う

6



お ご り け し さ る せ か い に ひ
 な み ち が み え る ふ か め よ い
 あ や ま ち を こ え れい は い と あ
 や み に む か た た え よ そ
 の こ と ば の せ て た た え よ か

11



び く さ け び
 の り の う た } ハ レ ル ヤ ハ ー レ ル ー ヤ
 い の わ ざ で
 の し ょ う り を
 み に う た お う }

20. 応答の歌 詩篇 146 篇 1 節

聖書 新改訳 2017

作曲 陸慧憬 (公募)

オルガンで1回演奏します。引き続きでご唱和ください。



ハ レ ル ー ヤ わ が た ま し い ー よ



主 を ほ め た た え ー よ



1. くすしき^{めぐ}み^{めぐ} われを^{すく}い、
まよいしこの身^みも たちかえりぬ。

3. おも^{おも}え^すば^す過ぎ^{すぎ}にし すべて^{ひび}の^{ひび}日々、
苦し^{くる}み^{くる}悩^{なや}み^{なや}も また^{めぐ}み^{めぐ}恵^{めぐ}み。

2. おそれ^{しんこう}を^か信仰^{しんこう}に^か変^かえた^かまいし
わが^{しゅ}主^{しゅ}のみ^{めぐ}恵^{めぐ}み とう^{めぐ}とき^{めぐ}かな。

4. わが^{しゅ}主^{しゅ}の^{ちか}み^{ちか}誓^{ちか}い 永遠^{とわ}にか^{とわ}たし、
主^{しゅ}こそ^{たて}は^{たて}わが^{たて}盾^{たて}、つきぬ^{のぞ}望^{のぞ}み。

5. この身^みは^みおと^よろ^よえ、世^よを^よ去^よるとき、
よろこ^よび^よあ^よふる^よる み^{くに}国^{くに}に^い生^いき^いん。



1. く す しー き み め ぐ み わ れ をー す く い、
2. お そ れー を しんこうに か え たー ま い し ▶
3. お も えー ば す ぎ に し す べ てー の ひ び、
4. わ が 主ー の み ち か い と わ にー か た し、 ▷
5. こ の みー は お と ろ え、 よ を さー る と き、



まよーいーしこのーみーもたちかーえりぬ。
▶ わがー主ーのみめーぐーみとうとーきかな。
くるーしーみなやーみーもまたみーめぐみ。
▷ 主こーそーはわがーたーて、つきぬーのぞみ。
よろーこーびあふるーるーるみくにーにい^{きん}。



24. 主の祈り

教会音楽祭

作曲 新垣壬敏

(先唱者) (一同)

て んの ち ち わ たしたちの ち ち よ

みながあがめられますように あなたのくにが来ますように

みこころが てんとおなじく 地でもおこなわれますように

きょうのパンを きょう おあたえください わ たしたちの おい 目を お

ゆるしくだ さい わ たしたちも おい 目を ゆ

る しあいます わ たしたちを ゆ う わくに お

ち いら せ ず かえってあくから おすくいください

くにもちか らも さか-えも あ なたのもの ア - メン



天の父、わたしたちの父よ
み名があがめられますように
あなたの国が来ますように
み心が天と同じく 地でもおこなわれますように
きょうのパンを きょう お与えください
わたしたちの負い目を おゆるしてください
わたしたちも負い目を ゆるしあいます
わたしたちを誘惑におちいらせず
かえって悪からおすくいでください

国も力も栄えも あなたのもの
アーメン

25. 賛美 「たたえよ主の民」 Praise God, from whom all blessings flow

訳詞 讚美歌 21

Tune: OLD 100TH (Genevan Psalter, 16C)

ファンファーレからオルガン前奏、引き続いてご唱和ください。



たたえよ、主^{しゅ}の民^{たみ}、みつかいととともに、
めぐみにあふれる、父^{ちち}・子^こ・聖霊^{せいれい}を。 アーメン



26. 祝福 ジェレマイア L. オルバーグ師

27. 賛美 「主を賛美するために」

作詞 小宇佐敬二

作曲 土井康司

(第36回教会音楽祭 委嘱作)

指揮 土井康司

Moderato ♩=114

A



mf 主を さんび — する ために — あなたはわ



たしたちを そう ぞうされ た — ウ — —

B



あなたは わたしたちを 死の とら われ から



かいほう して くださいまし た いま ころを あわ せて



あなたにむ か い *cresc.* さんびの うたを う た い ま す

C



mf 主を さんび — する ために — あなたは わたしたちを そう



D

ぞうされ た — とも に う た お う お だ や か な こ こ ろ で



あなたの のぞむ ^(He i wa) へいわのうたを *f* よろこびにあふれ

— ともにうたいます 主をさんび — するために

— あなたはわたしたちを そうぞうされた アー —

主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。
 あなたはわたしたちを死の捕われから解放してくださいました。
 今 心を合わせてあなたに向かい
 賛美の歌を歌います。

主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。
 ともに歌おう 穏やかな心で
 あなたの望む平和の歌を
 喜びにあふれ ともに歌います。

主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された。

28. 後奏曲

In Dir ist Freude

賛美歌「喜びは主のうちに」に基づくヴォランタリ

作曲 Mark Sedio

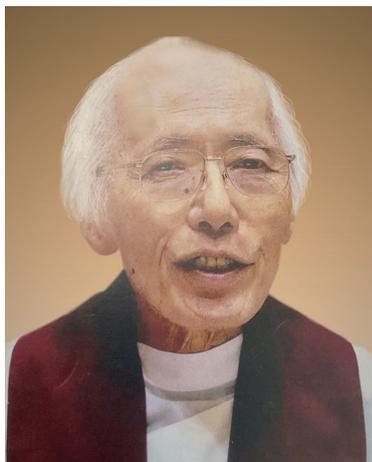
オルガン 中島郁代





第36回教会音楽祭テーマ曲(委嘱新曲)

「主を賛美するために」



作詞 小宇佐 敬二

ゆっくりお休みください

使徒ヨハネ 小宇佐敬二神父様

カトリック教会の司祭で、教会音楽祭実行委員の小宇佐敬二神父様が本年5月20日に帰天されました。享年76歳でした。

神父様は、1948年に宮崎県都城市に生まれました。カトリックのミッションスクール日向学院に入られ、そこで受洗されました。1981年に司祭叙階され、43年間その仕事を全うされました。司祭生活を始めて10年程の頃に頸椎の病になり、その後交通事故に巻き込まれたり、晩年は癌との闘いと、司祭生活の3/4は辛い体を押ししての日々でした。しかし決して辛い顔をされることなく、むしろそれを引き受けるかのようにいつも温厚柔和で回りに接しておられました。

詩人としてのお顔もお持ちで、門切り型の祈りとは一線を画す、静謐の内に温かみと優しさを醸しながら神の息吹に誘う言葉を紡いでおられました。「ひかりをあびて」「シャローム」「エッフアタひらけ」など多数の聖歌の詞、「主は湖のほとりで」の訳詩、パウロの書簡に想を得た長詩「ぼくは ひばり」等、触れる人の心に寄り添う

忘れがたい言葉を残してくださいました。

詩人としての創作もさることながら、神父様の詩人としてのセンスが遺憾なく発揮されていたのは日々の司牧活動でのこと。どのようなことがあっても、どのような厄介な問題でも懐深く受け止め、最善を決して投げることなく最後までやり通す。そこにはいら立ちや焦りというものもなく、いつも穏やか冷静に処しておられました。

教会音楽祭との関わりは長く、草創期の音楽祭に、神学生の時から参加されておられました。司祭になって後、教会音楽祭委員として長く関わられることになり、最後まで務められました。教派の神学的立場を越えて私たちの言葉で共に祈る場を心から大切にしておられました。

音楽祭のテーマ「主を賛美するために あなたはわたしたちを創造された」は小宇佐神父様が提案されました。今、世界が不穏な状況にある中であって、心して祈りたい言葉です。本日の音楽祭を天の国から見守りつつ、共に祈り歌ってくださいていることでしょう。

(町田 治：教会音楽祭実行委員)



作曲 松尾 茂春

この歌詞は A-B-A-C-A の構成ですが、繰り返される A 部分は賛美する喜びに舞うような 12 拍子としました。一方、B、C 部分は朗誦調～変拍子の中で、静まって内省し、神の恵みを見上げながら律動的な賛美に向かって動き出す部分となっています。

必ずしも明るい和音だけを連ねることはせず、たとえば B の「私たちが死の捕われから解放」の部分では、それをなされたイエス・キリストの十字架の贖いを思うべく、属和音での導音に位置する音を半音下げ、続くバス・パートには象徴的な半音階下降音型を配しています。

繰り返される A 部分の歌詞と旋律は、3 度目の最後を除いて同一ですが、それぞれに異なる和声を添えることで前向きの変化を目指しました。

歌詞との関りでは、歌詞の持つ抑揚に沿った旋律線とすること - すなわち言葉に上下の抑揚があれば旋律線もそれに沿って上下させ、強弱の抑揚があれば音符の長さや拍の位置もそれに合わせるといった点に注力しました。文法上の助詞が強拍や最高音に唐突に来ないようにも心がけています。不可避な部分もありますが、そこは歌唱上で補っていただければ幸いです。



作曲 町田 治

創世記の始めの箇所、神は自分にかたどって人を創造し、創ったすべてを“極めて良かった”としています。この賛歌の詞にある“創造された”はここからきている言葉でしょう。本来あるべき神と人との関係が“極めて良い”状態にあってこそ賛美ができ、“あなたの望む平和の歌”が“おだやかな心で”“よろこびにあふれ”て歌えるのです。“死の捕われから解放して”いただいている私たちは、この平和の歌をともに歌う仲間を増やすよう神から呼びかけられています。教会音楽祭のミッションもこれに答えることにあると言えます。このような大切な言葉への作曲という大役を担う一人とさせていただきましたことを心より感謝いたします。

作曲 土井 康司

会衆賛美曲の作曲にあたっては「歌いやすく、覚えやすく、飽きにくく」作る努力をしています。今回の原詞には同じ歌詞が3回出てきますので、同じメロディーを当てて「歌いやすく、覚えやすく」しました。しかし歌詞やメロディーが同じであっても、歌う心は変化していくのが賛美歌の味わい深いところです。繰り返すほどに神様への思いが深まり気持ちが高まり、三回三様の告白となるように意識して「飽きにくく」作ったつもりです。

作詞された小宇佐神父様とは 2008 年から、教会音楽祭の実行委員会で共にご奉仕させていただきました。委員会では寡黙に見守りつつ、重要な働きをためらいなく引き受けてこられた姿が印象的でした。

■公募作品選考経過

この度の公募は、

①詩編 103 による詞

②詩編 146 による詞

の2編について、曲の公募を行った。規定をクリアしている①の3曲、②の4曲が選考対象となった。

①は、詩編から率直な力強さを引き出している土屋作品、賛美を暖かに歌い上げている高垣作品を入選とした。

②は、詩編の言葉の抑揚を活かし賛美への招きを歌い上げた平山作品、浮遊するようなりズムがとてもユニークな陸作品を入選とした。

ご応募ありがとうございました。

公募入選作を礼拝等でお使いになりたい場合は、教会音楽祭実行委員会までお知らせくださいますよう、お願いいたします。☞教会音楽祭ホームページ <https://cmf.holy.jp>

■献金先について

第36回教会音楽祭の献金は、教会音楽祭のエキューメニカル宣教活動のため、また、救世軍を通して、下記の働きのためにもちいられます。

1. 能登震災支援1 【輪島塗救出支援】

倒壊した工房の蔵より貴重な作品、道具、塗料などを救出する作業を進めています。

2. 能登震災支援2 【炊き出し支援】

全国の救世軍の牧師・施設職員・信者がボランティアとして参加し、本年2月より6月まで被災地に赴き、難所、高齢者施設、病院の利用者、スタッフの方々に昼食を提供しています。

3. 地域における食事支援

救世軍の各小隊(教会)において、地域のニーズに応えた様々な食事支援を展開しています。



教会音楽祭のあゆみ

キリスト教の教派を超え、またクリスチャン・ノンクリスチャンを問わず、ともに賛美を捧げ喜びを分かち合う「教会音楽祭」は、日本最大規模のエキュメニカル・イベントです。さまざまな教派から集まった実行委員会によって企画／運営されています。

教会音楽祭は、ルーテル、カトリック、聖公会の三教派により、教派を超え音楽をもって一緒に主を賛美する集いをしてはどうか、と話し合われたことに端を発する。日本基督教団にも声をかけ、委員を出し合って準備を進め、1968年6月10日(三位一体主日)午後、第一回教会音楽祭が開かれた。千数百余の会衆が、各教派合計250名からなる聖歌隊と共に声を合わせ、心を一つにされた一同は大きな感激を味わった。

最初は音楽を紹介し合うだけであった教会音楽祭は、以後毎年主題を定め、ともに祈ることに大きな意義を感じ、次第に礼拝の形に整えられていった。実行委員会はルーテル教会、カトリック教会、聖公会、日本キリスト教団が回り持ちで幹事を担ってきたが、第31回(2013年)は合同執行部として日本バプテスト連盟、日本同盟基督教団、カンバーランド長老キリスト教会からの委員が取りまとめ役をつとめた。また、ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会を会場として使用させていただいたことを機に、同教派が加わったことも喜びであった。

第32回も引き続き幹事は合同執行部(委員構成:ルーテル教会、聖公会、ウェスレアン・ホーリネス教団)の形で担った。日本の諸教会が教派を超えて合同賛美グループを編成するとともに、韓国語、中国語、英語の賛美グループも参加して、ともに主の平和を祈る時となった。

第33回(2015年)は「心ひとつに 一争い

から交わりへ」をテーマに、玉川聖学院谷口ホールを会場にお借りして開催した。「教派を超えた合同の賛美」を目指し、幹事はカトリック、カンバーランド長老キリスト教会が合同で担った。大きな特色となったのが、初めて結成されたエキュメニカル・オープン・クワイアである。所属教会・教派、クリスチャンであるかないかを問わず参加を呼びかけ、2回の練習を経て会場でともに声を合わせる幸いを得た。公募当選作として「心ひとつに」の歌詞に2つの旋律をセットし、参加者全員で賛美したことも喜びであった。

第34回(2019年)は日本基督教団が単独で幹事を担い、青山学院宗教センターの後援を得て同学院ガウチャー記念礼拝堂で開催した。「旅」をテーマにした各教派のアンセム、エキュメニカル・オープン・クワイアでの合唱、青山学院の大学生小学生も参加し、多彩な賛美を分かち合う時となった。

新型コロナウイルス感染症の流行によって教会の礼拝ことに合唱にかかわる活動が自粛されるなか、第35回は当初の予定から1年延期し、2022年に動画配信という形で開催した。教派を超えて集まった有志が「事務局」として取りまとめ役を担い、幅広い時代・形式の賛美、祈りやメッセージを録画して50分ほどの動画作品を製作。視聴回数は、1年間の公開期間で4000回を超えた。

第36回は国際基督教大学のご協力により、5年ぶりの対面開催が実現した。



著作権一覧

主を賛美するために

Words © 小宇佐敬二

Music © 2024 松尾茂春

Music © 町田治

Music © 2024 土井康司

日本音楽著作権協会（出）許諾第 2404844-401 号

日本基督教団讃美歌委員会

著作物使用許諾第 5493 号

『聖書 新改訳 2017』 ©2017 新日本聖書刊行会

ガリラヤの風かおる丘で

Music © 蒔田尚昊

ジンバブエのハレルヤ

© Dumisani Abraham Maraire (1944-1999),
Zimbabwe.

All rights reserved. Only for non-profit use.

神をたたえる歌は

Text © Stainer & Bell Ltd, London, UK,
www.stainer.co.uk.

Used by permission. All rights reserved.

Music©Lim Swee Hong

この冊子の無断転載は固くお断りします。

協力

国際基督教大学宗務部

国際基督教大学教会

日本盲人キリスト教伝道協議会

第36回教会音楽祭実行委員会

ウェスレアン・ホーリネス教団（有志）

カトリック教会

カンバーランド長老キリスト教会

日本聖公会

日本キリスト改革派教会（有志）

日本長老教会（有志）

日本同盟基督教団（有志）

日本バプテスト連盟（有志）

日本福音ルーテル教会

教会音楽祭ホームページ <https://cmf.holy.jp/>



主催 教会音楽祭実行委員会
<http://cmf.holy.jp/>

